

大東文化大学経済研究所

第27回経済シンポジウム

# 格差社会の現実と展望

- 豊かな社会の実現に向けて -

2007年12月1日(土)

12:30 ~ 15:30

大東文化大学板橋校舎

1号館 0101教室

主催：大東文化大学経済研究所

共催：大東文化大学経済学会

後援：東京都板橋区

東京都板橋区教育委員会

## 第 27 回大東文化大学経済研究所経済シンポジウム

【テーマ】 格差社会の現実と展望 豊かな社会の実現に向けて -

【趣 旨】 格差社会が現実のものとなった。マスコミやシンクタンクがおこなう国民のアンケート調査では、現在、8割の人が「日本では格差拡大の現象が起きている」と答えている。国民の大多数が日本の格差拡大を実感する時代となったということであろう。

格差は、大なり小なり、いつの時代、どの社会にも存在する。今日の格差問題がすべて政策の失敗とはいえないまでも、現在進行している格差拡大は、明らかにバブル崩壊以降の大胆な構造改革、規制緩和策のなかで生じてきた構造的な問題である。個人の自助努力や自己責任では解決できない、むしろ「作られた」格差という一面は否定できない。

そこで、格差拡大が進むなかでいまこの国でどのようなことが起こっているのか。格差問題の解決は可能なのか。本当の「豊かな社会」の実現は、展望はあるのか。ということをおこのシンポジウムで考えてみたい。

【期 日】 2007年12月1日(土) 12:30~15:30

【会 場】 大東文化大学板橋校舎 1号館 0101教室

【主 催】 大東文化大学経済研究所

【共 催】 大東文化大学経済学会

【後 援】 東京都板橋区

東京都板橋区教育委員会

【対 象】 一般市民・学生

【参加費】 無 料

【内 容】 基調講演およびパネルディスカッション

＊ 講演者・パネリスト

「格差社会論と社会階層論

格差社会論からの挑戦に込めて」

東北大学大学院文学研究科教授

佐藤嘉倫氏

「格差論議と経済学の任務」

大東文化大学経済学部講師

石水喜夫氏

＊ コーディネーター

大東文化大学経済学部准教授

古屋核氏

＊ 全体進行

大東文化大学経済学部准教授

内藤二郎氏

【交流会】 パネルディスカッション終了後

【問合せ】 大東文化大学経済研究所（担当：川野・恩田）

175 - 8571

東京都板橋区高島平1 - 9 - 1

電話03 - 5399 - 7327

FAX03 - 5399 - 7380

E-mail: ier@ic.daito.ac.jp

## プログラム

- 12 : 00 会場 板橋校舎 1号館 1 0 1 0 1教室
- 12 : 30 開会
- 司会進行 内藤 二郎 (経済学部)
- 開会の辞 渡部 茂 (副学長)
- 中村 年春 (経済研究所長)
- 12 : 40 基調講演 その1 佐藤 嘉倫 氏 (東北大学)
- 「格差社会論と社会階層論  
格差社会論からの挑戦に応えて」
- 13 : 30 基調講演 その2 石水 喜夫 氏 (大東文化大学)
- 「格差論議と経済学の任務」
- 14 : 30 休憩 (10 分間)
- 14 : 40 シンポジウム
- 質疑応答 古屋 核 (経済学部)
- 15 : 30 公開講座閉講式
- 15 : 45 休憩 (15 分間)
- 16 : 00 交流会
- 開会の辞 岡村 宗二 (現代経済学科主任)
- 17 : 30 閉会の辞花輪 宗命 (社会経済学科主任)

# 交流パーティーのご案内

第27回経済シンポジウムにひきつづき、講師陣と参加者の皆様の交流会を開催いたします。参加費は無料です。皆様方には公私共にたいへんお忙しいこととは存じますが、お誘いあわせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

## 記

日 時 2007年12月1日(土) 午後4時00分～

場 所 大東文化大学板橋校舎 1号館 B1F 生協カフェテリア